

第19回 妻木晩田遺跡発掘調査委員会 議事録

開催日 : 平成22年8月25日(水)
場所 : むきばんだ史跡公園 体験学習室、仙谷地区(現地)
時間 : 午後1時15分から4時30分
参加者 : 【発掘調査委員】

委員長 渡邊貞幸(島根大学名誉教授)
副委員長 酒井龍一(奈良大学教授)
委員 高島忠平(旭学園理事長)
委員 和田晴吾(立命館大学教授)
委員 深澤芳樹(奈良文化財研究所都城発掘調査部部长)

【指導・助言】

岩田文章(米子市教育委員会)、西尾秀道(大山町教育委員会)

【事務局】

むきばんだ史跡公園 三嶋所長、小口係長、岡野文化財主事、酒井文化財主事、玉木文化財主事
文化財課 大野哲二文化財主事

内容 :

1 報告1

(事務局)平成22年度調査について説明。

(1) 1区北側丘陵A地点

(和田委員)丹後等に認められる斜面につくられる墳丘墓は、段がしっかりしている。これに対して、この地点の場合、全体的に段が弱く、遺構の可能性は低い。

(渡邊委員長)山陰で認められる斜面につくられる墳丘墓は、段が明瞭でないものが多い。

(深澤委員)地山としている粘土層がレンズ状に堆積している可能性があるため、礫層と粘土層の関係を確認するため、断ち割りを入れること。

(渡邊委員長)遺構の調査でなく、地山の堆積状況を確認するための調査なので、しっかりと掘り下げて確認すること。ベルトに沿ったトレンチで層を確認した後、層位が明確でない場合は、もう1箇所断ち割りをいれること。

(2) 1区北側丘陵B地点

【S6】

(深澤委員)溝の下層の地山としている粘土層は、礫層が認められるまで掘り下げること。

(米子市)洞ノ原地区では粘土層と同様の土を掘り下げることができたので、溝の下はまだ掘れる可能性が高い。

(和田委員)古墳か、墳丘墓、自然地形かどうか、現状では判断できないので、断ち割りを入れて、人工の構造物かどうか確認すること。

墳頂部分に堆積する土が盛土かどうかの確認はできないかもしれないが、断ち割りをいれて確認すること。トレンチ墳丘頂部までを延長し、墓壇の有無が確認できる場合、確認しておくこと。ただし、埋葬された後、墓壇に化粧土を施す場合があり、わからない場合もある。

(渡邊委員長)墳丘頂部の高まりは残りがよい可能性があるため、東西トレンチも延長して盛り土の有無を確認すること。

【S7】

(渡邊委員長)SK1はトレンチの範囲で一段(5~10cm程度)掘り下げ、遺構の肩を確認し、遺構の肩を確認した高

さまで面的に掘り下げ、遺構の輪郭を明確にすること。
(深澤委員) 地山の層を確認するため、断ち割りをを行うこと。

2 議事1

(1) 副委員長の選出

(渡邊委員長) 副委員長を酒井先生に指名。

(2) 仙谷地区東側丘陵

(渡邊委員長) 成果はまだ出ていないので、調査結果が出た上で再検討すること。

(高島委員) 周囲に溝を伴う墳丘墓のタイプ分けは、方形周溝墓に引張られた分類なので再度検討すること。

(渡邊委員長) 分類は単純に模式図化したものも必要であるが、遺構に即した形で検討すべき。今年度は調査の1年目なので、調査年度の最後に類型化できるようにしておくこと。

3 議事2 平成23年度調査計画

(事務局) 平成23年度の調査計画について説明。

【1号墓】

(渡邊委員長) 図面の整合性が取れないことがあるため、過去のトレンチ調査の位置は確実におさえておくこと。

(和田委員) 1号墓の隅は北東側の残りがよいと思うため、北東側の調査を行ったほうがよい。もしくは、北東側と北西側の両方を調査したほうが良い。

(和田委員) 1号墓の南側のトレンチは長いと思う。短くして、その分北西側と北東側の調査をしたほうがよい。

(事務局) 1号墓周辺の段状地形の確認するため、トレンチは長く設定したい。北西側と北東側については、調査の状況によって両方調査することもある。

(渡邊委員長) 四隅突出型墳丘墓の四隅は残りの悪く、良好な状態で検出できないことが多い。このため、規模を明らかにするため、中心を通る十字になるトレンチを設定し、規模を明らかにしたほうが良い。図面も中心軸を意識した断面図を書けるようにすること。

【墳丘上の高まり】

(高島委員) 墳丘墓の可能性の他、1号墓に関連する祭壇的な施設の可能性がある。

(深澤委員) 過去の調査のトレンチを軸として、「一」を組み合わせた、十字になるトレンチを設定し、調査を行うこと。

【その他】

(渡邊委員長) 今日の報告の時に出了課題は現地指導として、9月中旬に委員に確認すること。

(委員全体) 平成23年度に実施予定であった谷部のトレンチ調査については、24年度以降に実施することは承認。

(渡邊委員長) 谷の名称を確認しておくこと。